



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党八千代市議団メール: kyousan@jcp-yachiyo.jp

日本共産党
八千代市議団
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>



第654号
2024年11月18日

発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5

米価高騰で生産者にも消費者にも深刻なしわ寄せ

8月頃から米不足が大きな問題になりました。政府は備蓄米の放出に消極的で「新米がそろそろ出るから解消します」等と無責任な発言をしました。新米の出荷が始まっても米の値段は高騰したままです。近くのスーパーなどを4,5軒調査した結果(5キロ袋2900円~3100円。10キロ袋5500円~5800円。)高止まりしたままでした。

消費者は新米が入荷したら値段が下がると思っていたのに、高騰したままです。

農家が収穫したお米は農協などに販売します。今年は八千代市の農協では60キロ20,000円ほどです。去年の米の値段は1万4000円ほどでしたが、米不足ということで8月頃から値上がりしました。

「政治の無策」米を安心して生産できる日本に

水稻の作付面積は2013年から2023年28万ヘクタール減少し、生産量は157万トンの減です。そして稲作農家は2010年から10年間で約116万戸から70万戸と4割も減りました。

自民党政権の政策では、主食の米も不足する国になり、やがて米や食料は輸入に頼る国になってしまいます。

農家が1俵(60キロ)生産するための経費は1万5273円(農水省調査)です。自民党農政でこれまで長期にわたり「減反政策」や「生産調整」が行われ、農家の生産費よりも安い値段で米が買われていました。米農家の時給は10円という事態です。これでは、農家の後継者が増えるはずがありません。

安定した生産と消費のためには、国による価格補償とともに所得補償こそが求められています。

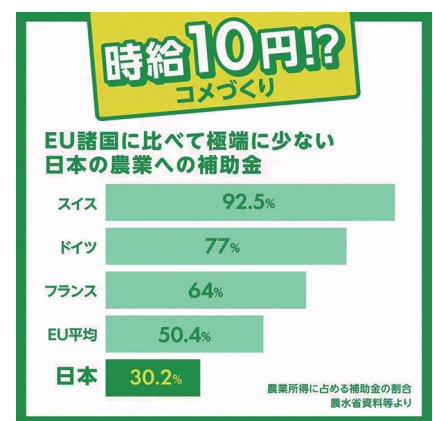
八千代市農業委員会が意見書を提出

今年3月議会に農業関係者から「請願書」が提出され、9月11日には農業委員会から八千代市に農業施策の「意見書」が提出されました。市は予算的措置を行ない真剣に取り組む必要があります。

- ①遊休農地の発生防止・解消に向けて
(遊休農地は約102ヘクタール。昨年度より5ヘクタール増)
- ②新規参入の促進に向けて
新規就農者への適切な情報提供とフォローアップ。PR活動
- ③農業経営の安定対策への取組に向けて
(1)多目的防災網等への市の単独補助。(2)肥料、資材、飼料価格高騰への継続対策。(3)耕畜連携の取組推進に向けて
- ④DXを活用した取組の推進について

日本共産党は食料自給率をまずは50%以上にするために欧米が行なっている農家に対する価格保障と所得補償を行なって農家・農業を育てるべきと考えています。

日本共産党が衆院選で掲げた政策



日本共産党2024総選挙政策の一部です。・詳細は右側のQRコードからアクセス!



https://www.jcp.or.jp/2024shuin/sujide_7.html